



札響のチェロ奏者の土田英順氏のコンサートが総会の後盛況のうちに終わりました。

栄短同窓会

だより

—第3号—

平成6年9月15日発行
北海道栄養短期大学同窓会
札幌市南区藤野400番地

学校法人
鶴岡学園本部事務局内
TEL(011)592-7702
FAX(011)592-2988



「再び旅立ち」

北海道栄養短期大学同窓会

会長 北崎 勉子

食物栄養学科三期

冷害と災害に見舞われた昨年とはうつて変わり、全国的に記録的な猛暑となり、想像を絶する水不足、又干魃による米をはじめとした畑作の被害に苦しんでいる地方も多いと聞いております。心よりお見舞申しあげます。暦の上では処夏もすぎ赤くんぼが舞い風が肌に涼しい季節になりました。

この一年皆様にも色々なことがお

ありでしたでしょう。私達の母校も昨年「同窓会だより」で詳しくお知らせしましたとおり、本年四月一日より『北海道文教短期大学』として新しい歴史の第一歩を踏み出しました。古瀬卓男学長を中心更なる飛躍を目指し職員一同で頑張っていらっしゃいます。

今年も又短大三十回卒業生五四七名を五十一回目の会員としてお迎えし新しい枝を広げることが出来ました。一つ幹に連なる会員がお互いの幸せを祈りつつ大木へと育っていくことを夢みて支えあうことは素晴らしい

ことだと思います。その為のお手伝いをすることが同窓会の役目かと思つております。

昨年一度は退任なすった佐々木シリミ先生が本年七月より理事長として復帰なさいました。新しいヴィジョンをかかげて旅立ちをした「鶴岡学園」のために以前にもまして良い仕事をなすつて下さいます様にお祈り致したいと思います。

既に皆様にお知らせしましたが母校の改名に伴ない同窓会の名称も変ることになりました。広く皆様から公募しました中から十月の同窓会総会で承認いただいたものを新しい同窓会名として掲げていくことになりますが、多くの若い会員にひきつがれ、これまでと同様長い歴史を脈々と重ねてゆくことを願つてやみません。来る二十一世紀を目前にして、母校の益々の発展と皆様の御健康とお幸せをお祈りし御挨拶にかえさせていただきます。



改名して

学長 古瀬卓男

会報第三号の発行をお祝い申し上げ、会員の皆様方のご健勝とご活躍をお慶び申し上げます。

昨年秋会報第二号で就任に当つての挨拶を申し上げ、その際校名変更の必要性と経緯について述べさせて頂きました。

此の度第三号発行に当つて、北崎会長さん、齊藤編集委員長さんから「改名して」とのテーマで稿を寄せるようとのこと、昨年度の就職状況と今年度の入試状況を通してその効果をご確認願い、更に、改名によって今後どの様な発展計画を考え得るか等について申し述べます。

尚、就職・入試状況の数字については別に担当者よりお知らせしてありますので、それをご覧頂きたいと思います。

ご承知の様に、平成5年は、日本は経済不況・政治的昏迷が続く中で、史上最悪を云われる程の凶作に襲われた年でありました。当然の事であります、日々報ぜられる有効求人倍率の低下に、私どもは、卒業生の就職問題について頭の痛い日々を送らざるを得ませんでした。併し、その危惧を他に、結果は数字が示す様

に全道の学卒者の平均就職率を大きく上回るものがありました。

私は、第二号のご挨拶の中で、ここに至る迄の教職員の地道な努力と、卒業生諸君の健闘に深く敬意を表します。同時に、昨年中の校名変更の広報活動の過程で、私が直接耳にした「名実ともに幼稚園教諭・保母養成学校の仲間入りですね。」といふある幼稚園長の言葉、あるいは一流企業の人事部長の云つた「変革を目指す学校は、教職員にも学生にも何かしら勢いを感じますね。」という評価を思い出します。校名変更の波及効果であります。

校名変更の効果は平成六年度の入試出願状況において、より直接的な現われ方をしている様に思います。十八才人口の減少期に入っているにもかかわらず、昨年に比して出願者は約五百人近い増加であります。他短大・大学が殆ど出願者減であり、高等学校や受験産業関係者の間で大きな話題となっています。幼稚教育学科が前年比一・六二倍に増加しましたが、日々報ぜられる有効求人倍率の低下に、私どもは、卒業生たのみならず、食物栄養学科が前年比一・五五倍となつております。まさに「変革を目指す学校の勢い」であります。

私は昭和五十五年四月から八年間栄短にお世話をになりました。この間、教職科目を担当するとともに、幼教の学級担任をいたしました。私は再び若い学生に接し、教育の喜びと、その厳しさを経験させていただき感謝しています。時折、結婚祝賀会の案内をいただき、むかしのクラスの皆さんに会うことができてとてもうれしく思います。

私は平成三年十二月体調を崩して、



現況報告

旧師田中

保

私は、第二号のご挨拶の中で、この短大が発展計画を立てる場合、校名変更は必要不可欠の条件である理由について詳細に申し述べました。四年制大学の創設は、学園創立者鶴岡先生ご夫妻のみならず、学園関係者全員の悲願であります。

校名変更という第一ハードルをクリヤーして、申し上げました様に

「勢い」に乗った短大を更に発展させ、それに伴って財政基盤の確立を目指しつつ、恵庭市を中心とした関係自治体との連携強化の中での可能性が出て参りましょう。食物栄養学科の移転によって生じた恵庭市との深いつながりを考えます時、過去の様々な折衝過程を熟知しておられる佐々木シロミ先生が去る七月二十四日の理事会において学識経験者として再び理事になられ理事長に推挙されたご就任された事を意義深いものと思っております。

新体制のもと、悲願達成の日を目指しての努力の日々としたいと心を新たにしております。ご声援下さい。

三ヶ月ほど入院しましたが現在は穏やかな日々を送っています。体力回復のため一日三・四十分の散歩を日課にしています。今年の冬は四十ほど「歩くスキ」で軽く汗を流しました。いまありがたいことは、読書の時間が十分あることです。でも「歳月人を待たず」といいます。

同窓会のますますの発展と、会員の皆さまのご多幸を祈っております。

日胆・道東支部の同輩の活躍!!



訪問栄養指導は大変

小田 博子

食物栄養学科 3期

栄養士という職業に興味を持ったのは、古い話ですが小学校六年生の時でした。その目標に向かい、今日になってしましました。

短大卒業後は少し、寄り道をしましたが、器用ではないけれど、地道に進もうと思い、学校給食、老人ホームをへて、行政（保健センター）と三分野を経験してきました。

が、それなりに大変ではありました。が、今思えば、おもしろい事もたくさんあったような気がします。

その積み重ねが、現在の職場において役に立っている事を日頃、感じております。仕事内容も赤ちゃんから最近は在宅福祉の面から、寝たきりの方への訪問栄養指導迄、増え、期待をかけられており、弱音をはいている“ヒマ”はありません。まわりのスタッフとの連携をとりながら、効果的な仕事をしたいと常日頃、考えています。

全校生徒は三十人、私は二年生七人の担任をしています。教師となって一年目は何もわからず、無我夢中で一年目はどこかで間違ったまま過ぎていきました。二年目の今年、昨年に比べると多少、余裕が出てきたように感じます。しかし、まだまだわからない事が多く、周りの先生方に支援をしていただきながらの毎日を送っています。

毎朝、教室へ行き「おはよう」と子どもたちに声をかけると、「先生、あのね、きのうねー。」と、元気いっぱいの声が返ってきます。そんな子どもたちと接していると、いつの間にか、仕事の忙しさや疲れなども忘れててしまいます。



「道東支部のガンバリ屋さん」

栄村 麻美

生活文化学科 26期

教える立場から、

す。

私は現在、帯広のとなり町、芽室町にある西士狩小学校に勤務してお半が過ぎようとしていま



一期生の クラス会

子育てからそろそろ手も離れ、少人数ではありますが、クラス会を開いております。話しがはずみ盛り上がりると一次会では終らず、二次会、三次会と統いて勢いにのって、「次会は私の友達三人連れてくるぞ。」声高らかにいう人有ります。

子どもたちに、元気と勇気をもらひながらいろいろな事に挑戦し、これからも、がんばっていきたいと思つています。



幼児教育学科

武田 希

「北海道栄養短期大学」という校名においての最後の卒業式を終え、現在私は保母として愛隣館東山保育園に勤務しております。今はまだ一日の流れに合わせて行動すること・与えられた仕事をこなすことに精一杯で周りの状況を把握する余裕があまりありませんが、毎日子供達や先輩保母の方々から多くのことを学んでいます。特に子供達の発想の豊かさ、物事を見る視点には驚かされています。

これからも子供達のパワーに負けぬ様、体調には十分気をつけ、一人前の保母となれる様、努力していく

うと思っています。



奥山 亮司

今年は不景気ということで、就職の時期だった方は大変だったと思います。私もその中の一人で、調理師の求人がなかつたりと色々と苦労しました。それでもなんとか四月に就職が決まり、現在、千歳エアポート

中華です。色々と事情があり、料理の基本である和食で下積みし、いざれば中華の世界に入り、トップを取るという夢に向かって働く毎日です。もし、千歳で飲む機会がある方は一度「村まつり」にいらして下さい。

しかし、私の本当にやりたい事は中華です。色々と事情があり、料理の基本である和食で下積みし、いざれば中華の世界に入り、トップを取るという夢に向かって働く毎日です。もし、千歳で飲む機会がある方は一度「村まつり」にいらして下さい。



生活文化学科

伊藤由紀子

新入会員紹介

平成5年度卒

私は今、北門信用金庫札幌支店に勤務し、為替業務を担当しております。入社してまだ四ヶ月余りですが、学生の頃と違い、毎日朝早く起きて出勤しなければならず、とても苦労しています。また、札幌支店は、他

の支店の現金や郵便などの取りまとめを行っているため、それが届かないといと帰れないという辛さもあります。社会人になって一番感じたことは、責任感がとても重要になってくるということです。特に金融業の場合、現金を扱うのでとても神経を使います。今はまだ、与えられた仕事だけで精一杯ですが、これからも文教短大の誇りと责任感を持つて仕事に励んでいきたいと思います。



山本 陽子

四月より、福祉施設の栄養士として勤務しています。最初の一ヶ月は献立と発注に追われ、二ヶ月目には事務的なことにも少し手がつけられるようになりました。

しかし、私の施設は知的障害者が生活する施設で、入所者の方と共に生活をし、行事も多い方なので忙しい毎日です。自分の思った通りの仕事ができなくて、どうして良いかわからなくなることもあります。毎日いろいろな面で勉強することは、楽しく、時には辛いけれど、一日も早く仕事に慣れ、管理栄養士を目指して努力していきたいと思つてます。

現在の目標は、入所者の方に楽しく美味しい食事をして頂けるように、新しいことを学びながら頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

人

一九七七年六月、私にとつて初めての海外旅行は中国でした。第二の訪問地南京で入院の皆さんに大変お世話になりました。し、その時、病院の関係者や各団体帰国後何かお役に立つことが出来ないものかと考え、中国語を習い始めました。また友好のために生かしたいものと思つておりましたが、一九七八年四月突然の転勤のため中断しました。

“交流と友好の日々”



西垣幸恵

てしまい、途方にくっていたところ、小樽に越して六ヶ月後の九月、中国人柄の葛天爵先生に出会い、先生に中国語を教えていたたく事になりました。言葉も習慣も全く違う生活の中で、幸いにも心やさしい素敵な仲間に恵まれ、小樽での中国講座がスタートしました。それが発展して道

新文化センター中国語講座、市の成

人学校中国語講座、その他の講座、太極拳、留学生との交流、港町小樽ならではの中国船訪問等々、勉強と多くの交流が芽ばえ友好の方も徐々に活発になってきました。

勉強や友好を通して、中国の私達の知らない文化、食生活等多くを教わり、とりわけ食生活において、エネルギー源となつて力のつく物、体を整える物、体を温める物、体を冷やす物、この四つが日常自然に身につき、毎日の生活の中に生かされていることを知り、改めて歴史の深みを知らされました。中国語講座で何度も訪中しましたが、学ぶことから、物の見る範囲また食事などは違った趣きがもて、何よりも人の温かみを感じ取れるようになりました。

西垣さんは、北京放送を聞く会北海道支部事務局次長・中国留学生友の会会員・日本友好協会会員という肩書をもちながら、中国語講座では助手をしながら中国語も少しづつ教えているようです。

快挙!!

管理栄養士、合格者数40名、
全道第2位、全国13位となる。

短大附属幼稚園の風景から



毎週土曜日実施されている
子育て相談研究センターから



学園祭での後輩達のパフォーマンスより

現在札幌市立中の島小学校の栄養士として勤務し、今年で二年目に入りました。まだまだ余裕などあります。せんが、多くのすばらしい先輩に恵まれている私は、日々学ぶことばかりです。

献立作成などの業務の他にも、少しづつではありますが、栄養指導にも力を入れています。昨年は、本校の三年生を対象として、牛乳についての授業を行ないました。指導案や資料作成は大変ですが、効果も大きなもので、牛乳ぎらいの児童が毎日飲むようになりました。また今年は、私が所属する札教研豊平地区給食部会で給食指導用ビデオの作成を行っています。大がかりなビデオ作成は一人ではなかなかできません。今回作成したビデオは本校ではもちろんのこと、他の学校でも給食指導に使う予定です。

現在札幌市立中の島小学校の栄養士として勤務し、今年で二年目に入りました。まだまだ余裕などあります。せんが、多くのすばらしい先輩に恵まれている私は、日々学ぶことばかりです。



このようないい方があるのだと思いまます。が、諸先輩方の実践を参考に、私なりの給食指導を続けていきたいです。

校では献立黒板を見つしょに書いたり、おたよりを発行するなどして、児童へのアピールができるだけ行なっています。

野村直子
食物栄養学科三十期卒

学校栄養職員として

職場だより

平成6年事業計画

一、同窓会名簿作成
一、平成5年度卒業生への記念品贈呈

一、講演会講習会の開催
一、会報発行
一、支部の充実

一、その他

平成6年度予算

収入の部

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
前 年 度 繰 越 金	2,211,770	
会 費	5,860,000	5年度分 25名×10,000円=250,000円 6年度分 561名×10,000円=5,610,000円
利息収入	1,000	普通預金利息
計	8,072,770	

支出の部

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
5 年 度 総 会 及び懇親会	500,000	会場費 350,000円 教職員分 150,000円 (30名×5,000円)
卒業記念品費	668,400	557名×1,200円
印 刷 費	1,500,000	幹事会・常任幹事会の案内印刷 総会の案内・会報印刷
通 信 費	2,100,000	総会案内ハガキ・会報発送 電話代・切手代・他郵送代
事務消耗品費	50,000	ボールペン等
会 議 費	800,000	幹事会・常任幹事会・会報委員会
交 通 費	500,000	幹事会・常任幹事会・会報委員会 会交通費
アルバイト料	800,000	名簿等の整理
名簿整理費	200,000	名簿等の整理 (パソコンリース料16,480円×12ヶ月)
研 修 費	500,000	講演料
予 備 費	454,370	
計	8,072,770	

平成5年度就職・入試の状況について

就職状況は

今年度は昨年に続き就職の状況が非常に厳しいと新聞紙上でいわれています。そこで母校の状況それと共に入試状況はどのようなものかと、担当の先生方におうかがいしました。

まず初めに入試状況についておうかがいします。

○近年十八歳人口の減少がいわれるが、母校志願現況はどうでしょうか。

☆幸い本学の平成四・五年度の状況は増加しております。平成四年、一三〇七名、五年一三九四、六年一八八七名となっており、入学者数は四年四五五名、五年五六四名、六年五六一名となっております。

○増加の理由として考えられることはどんなことでしょうか。

☆そうですね、まず経済の低迷と産業界の抑制のため、高校生の進路動向が、就職希望から進学へと変化した事、又本学の情報提供と就職状況の好結果が資格取得と安全就職という意向と合致した事、それに校名変更、女子高生の進学率の高揚と、地方試験場の開設によ

り当該地域の志願者数も若干増加している事が認められるというところでしょうか。

○母校ではどの様な生徒に入学して欲しいと考えているのでしょうか。☆それはまず第一に學習意欲に富み、そして将来の目的意識をきちんともつた生徒にたくさん志願してほしいと思います。

○では最後に私達同窓生に出来ることがあれば協力したいとおもいますが。

☆はい、出来るだけ、入試の件や本学の情報を地域の高校や高校生に提供してほしいと考えております。

○どうもありがとうございました。

○この状況下で学生達はどの様にし

○新聞等によると特に女子学生を直撃したことですが。
☆企業は長期化の波を乗り切るために極端にスリム化を図り、それが一番に女子学生激戦となつた訳です。ひどいのになると、採用未定のまま募集を行い、企業の理想にあつた学生がいなければ採用中止という例もあります。

○今年も春早くから、学生の就職問題が騒がれていますね。

☆はい本年度は更に深刻になつていています。書類持参する学生の行動をチエック、ミスのない学生のみ受験資格を与えると言う企業や、伝の為に求人広告を出すだけ等と甚しいものもあります。

☆なにしろ六月の下旬頃から企業説明会、合同説明会が目白押に開催

されてますが、企業側はこれへの参加を受験条件にしている為、学生は十社位の参加を余儀なくされています。

○大学側ではどの様な対策を?
☆まず企業訪問、広報活動を強化、

本学の学生の特性を理解して頂き、学生の就職講座内容の充実、相談活動の強化、情報の迅速な提供をし、今まで以上に学生の実力を向上させ、人間的な魅力を持たせる事を課題にし、個別相談、指導に力点を置いております。

○担当の先生方が苦労なさっているのが非常によくわかりました。
☆氷河期といわれながらも、平成五年度は八十六・七%決定率です。

1. 就職決定状況		6年5月末日現在		
学科名	卒業生数	就職希望者数	就職決定者数	就職率
食物栄養学科	219	197	161	81.7
生活文化学科	195	183	155	84.7
幼稚教育学科	112	108	107	99.1
別科	20	10	7	70.0
専攻科	4	4	2	50.0
計	550	502	432	86.1

同窓会名簿 予約受付中

先に葉書で案内いたしました名簿、一部三、五〇〇円です。まだ申し込んでない方は至急連絡下さい。

事務局移転の お知らせ

北海道栄養学校建学の場として多勢の諸先輩方が鶴岡新太郎、トシ先生の教えを受けた場所その後学校法人事務局として使用してまいりましたが、この度移転する事になりました。

同時に同窓会事務局も移転しますので、平成六年九月十三日以降の同窓会への連絡は左記にお願いします。

電話〇一一一五九二一七七〇二
北海道文教短期大学内

土田英順ミニコンサートのお知らせ

日時	平成6年10月22日	曲目	バッハ G線上のアリア
P.M.	四時〇〇分	ピアノ	チャイコフスキートロイメライ
チエロとお話し	土田英順	山下由莉子	感傷の华尔ツ
その他			

出願方法

- 推薦入試の場合
食物栄養学科、生活文化学科、幼稚教育学科の3学科のいずれかへの専願者に限る。
- 一般入試の場合
 - (1) 食物栄養学科への出願者は、第二希望として別科への出願を認める。
 - (2) 生活文化学科の「コース」について、第一志望コースのほかに第二志望として、他の3コースのいずれかを選択し出願することができる。

出願期間・試験日・入学手続締切日等

1. 一般入学の場合

学 科 等	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 続 締 切 日
推 薦	食物栄養学科	平成6年 11月18日(金) ~11月30日(水)	12月2日 (金)	12月9日 (金)
	生活文化学科			12月19日 (月) まで
	幼稚教育学科			
I 期	食物栄養学科	平成7年 1月11日(木) ~1月26日(木)	2月2日 (木)	2月9日 (木)
	生活文化学科			2月20日 (月) まで
	幼稚教育学科			
II 期	食物栄養学科	平成6年 2月10日(金) ~2月15日(土)	3月3日 (金)	3月10日 (金)
	生活文化学科			3月20日 (月) まで
	幼稚教育学科			

別 科	上 の 3 学 科 の 「 I 期 」 「 II 期 」 の そ れぞ れ と 同 じ	上 の 各 試 験 日 に 試 験 を 行 う	上 の 各 発 表 日 に 発 表 す る	上 の 各 締 め 切 り 日 と 同 じ
専 攻 科	2月10日(金)~2月25日(土)	3月3日	3月10日	3月20日まで

特別入学の場合

対象者	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	入 学 手 続 締 切 日
社 会 人	1月11日(木) ~1月26日(木)	2月2日(木)	2月9日(木)	2月20日(月) まで
帰 国 子 女	2月10日(金) ~2月25日(土)	3月3日(金)	3月10日(金)	3月20日(月) まで
外 国 人 留 学 生				
転 入 学 生				

お願いします。
原稿依頼が届きましたら、快く協力を下さい。よろしく

次号は事務局の引越しとともに、私達会報委員も藤野に集まり、編集を続け、同窓会会報も第3号を無事、発行する事ができました。

その暑さにも負けず、会報委員は学園本部の2階に集まり、編集を続け、同窓会会報も第3号を無事、発行する事ができました。

今年の夏は、去年よりも平年よりも一段と暑く、長く続いています。

編集後記

工松 齊 梅 北 青
藤木 藤本 崎山 一子
美 寛 美百合子 久美子
西 飛 出 岸 藤根 中
家 渡 島 史千秀敦
史 千 織 恵 純 子子

会報委員名